

8 月度 <第 7 回>

会長の時間

平成 25 年 8 月 22 日

【RI 2013-14 年度 ロン D・バートン会長のロータリーを育てる！】

本日は、中野会長が、山口県 LP ガス協会 会長として、山口県庁に於いて、山本知事と「山口県における地域見守り活動に関する協定」の調印式出席の為、少し遅れて出席されますので、副会長の西村がご挨拶を申し上げますので、宜しくお願い申し上げます。

それでは、RI 会長メッセージとして、今回「ロータリーの友」8 月号に掲載されました会長テーマ「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」元、将来につなげるためロン D・バートン会長の話をさせて頂きたいと思います。

「ロータリーを育てる」

ロータリーで行う活動は、確実で、効果的で、持続可能であることを私たちは確認するでしょう。そして 2015 年 6 月末までに、ロータリアンを 130 万人に増やすという目的を達成することで、ロータリー自体が永続的であるようにしていくでしょう。

この目標は、今までの会員増強の目標とは少し異なります。この目標は単に新会員を連れてくるというだけではなく、ロータリーが成長するという事です。単に会員を増やしてロータリーを大きくするのではなく、私たちを将来に導いてくれるような、ロータリーに関わり、実践し、やる気のある会員を増やしてロータリーを成長させるという目標です。

ロータリーに入った理由はそれぞれ異なりますが、世の中を良いものにしたという思いは皆同じだと信じています。皆、意味のあることをしたいと思っています。このことは私たちが会員増強について話す時、心に留めておくべき、とても大切なことです。

私たちは誰彼構わずロータリーに誘っているわけではありません。魅力があり、忙しく、成功していて、やる気があり、他人のことを気遣う人を求めています。私たちは貴重な時間をロータリーに捧げてくれるよう頼みます。そして、それらの人たちが「はい」と言ってクラブに入会したら、私たちは彼らにロータリーのために費やされる時間が有意義だということを示さなくてはなりません。

「与え、そして得る」

それぞれのクラブに所属する、一人ひとりのロータリアンがクラブや地域社会に実際に影響を与えるような意味のある仕事を実施しなければなりません。皆

さんがロータリーで意味あることを実践していれば、ロータリーは皆さんにとって意味あるものになるからです。

ロータリーにおいて、私たちは皆、与えるものを持っています。生活やキャリアが違っていても、ロータリーには私たち皆のための何かがあります。—私たちにより多くのことをさせる手段、私たちの存在感が増す手段、そして私たちにより多くを与えることのできる手段など—。ロータリーは私たちの人生に、より大きな意義、目的、そして充実感を与えてくれます。そしてロータリーを通じて私たちが多くを与えるほど、ロータリーから私たちが得る見返りは大きいものになるでしょう。…と、ロン D・バートン会長は申され会員増強を強調されておられます。

一方、8月度ガバナー月信における沖田哲義ガバナーは、会員増強で「質も量」も重要であります。ここでは特に「退会防止」を強調され、第1に会員の退会を防止する事です。転勤になったとか、自分の経営する会社が倒産したとか、あるいは又それに近い理由で退会するのはやむを得ないことです。しかし問題なのは「面白くない」とか「役に立たない」という理由で退会することです。これは、殆ど、入会後のケアと研修が不足している場合です。このケースには、勿論「飲みニケーション」や「ゴルフ」等の「懇親」も含まれます。また、研修会については、当然のことですが、「奉仕」についての「猛」勉強を含みます。ちなみに、本年度地区重点方針の一つとして「職業奉仕の研究の深化と啓蒙運動」を掲げていますので、大いに実行して下さい。…と、結んでおられます。当クラブでも、昨年度、多くの退会者がありました。新入会員も重要ですが、まずは、退会者を出さないよう、ある時は、声掛けをし、ある時は、同好会に誘い、また、ある時は、飲みニケーションに誘い、宇部クラブの素晴らしさを共有したいと思いますので、宜しくお願い申し上げます。以上、会長代行としての時間を終わります。有難う御座います。

…今日も楽しいロータリーライフをお過ごし下さい。…